



月刊マーケットレター (12月号)



先月の市場とJAバンクセレクトファンドの基準価額の動きを確認するぞう！！



2024年11月末基準

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
国内株式	【日経平均株価】		
	11月末 38,208.03円	【国内株式は為替が円高に進んだことなどから下落】 ■ 今後の日銀による利上げが心配され、為替が円高に進んだことなどから、国内株式は下落した。	<p>2024年4月より下落傾向で推移しているが、前年同月末比でプラス。</p>
	10月末 39,081.25円		
	変化率 -2.2%		

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
米国株式	【S & P 500指数】		
	11月末 6,032.38ポイント	【米国株式は今後の景気回復が期待されたことなどから上昇】 ■ 米国の大統領選挙の結果を受けて、今後の景気回復が期待されたことなどから、米国株式は上昇した。	<p>上昇傾向で推移し、前年同月末比でプラス。</p>
	10月末 5,705.45ポイント		
	変化率 +5.7%		

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
国内REIT※	【東証REIT指数】		
	11月末 1,662.14ポイント	【国内REITは国内金利が上昇したことなどから下落】 ■ 今後の日銀による利上げが心配され、国内金利が上昇したことなどから、国内REITは下落した。	<p>下落傾向で推移し、前年同月末比でマイナス。</p>
	10月末 1,682.36ポイント		
	変化率 -1.2%		

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
米国REIT※	【S & P米国REIT指数】		
	11月末 384.04ポイント	【米国REITは米国金利が低下したことなどから上昇】 ■ 米国の次期政権による今後の財政政策が期待され、米国金利が低下したことなどから、米国REITは上昇した。	<p>2024年5月より上昇傾向で推移し、前年同月末比でプラス。</p>
	10月末 368.88ポイント		
	変化率 +4.1%		

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
国内金利／国内債券	【長期金利：10年国債利回り（日本）】		
	利回り 11月末 1.048%	【国内債券の利回りは今後の利上げが心配されたことなどから上昇（債券価格は下落）】 ■ 今後の日銀による利上げが心配され、国内債券が売られたことなどから、国内債券の利回りは上昇（債券価格は下落）した。	<p>利回りは上昇と低下を繰り返しながら推移し、前年同月末比でプラス（債券価格はマイナス）。</p>
	債券価格 10月末 0.952%		
	利回り変化幅 +0.096		
債券価格			

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
米国金利／米国債券	【長期金利：10年国債利回り（米国）】		
	利回り 11月末 4.169%	【米国債券の利回りは今後の財政政策が期待されたことなどから低下（債券価格は上昇）】 ■ 米国の次期政権による今後の財政政策が期待されたことなどから、米国債券の利回りは低下（債券価格は上昇）した。	<p>利回りは上昇と低下を繰り返しながら推移し、前年同月末比でマイナス（債券価格はプラス）。</p>
	債券価格 10月末 4.284%		
	利回り変化幅 -0.116		
債券価格			

資産の種類	前月の動き	前月の市場動向	過去1年間の動き
為替（米ドル）	【米ドル・日本円】		
	11月末 1ドル 150.74円	【為替は米国金利が低下したことなどから米ドル安/円高】 ■ 米国金利が低下し（米国と日本の金利差が縮小し）、米ドルが売られた（円が買われた）ことなどから、米ドル安/円高となった。	<p>米ドル高/円安と米ドル安/円高を繰り返しながら推移し、前年同月末比で米ドル高/円安。</p>
	10月末 1ドル 153.64円		
	変化率 -1.9%		
米ドル安 / 円高			

<当資料で使用した市場指数について>

- 「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。
- S&P500指数、S&P米国REIT指数はS&P Dow Jones Indices LLCの商品で、Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLCの登録商標です。また、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLCの登録商標です。
- 東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など、東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。市場動向については、過去の一定期間の状況について記載したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 市場動向に関連するデータは、株式会社野村総合研究所のデータ等に基づき、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「NFRIC」）が作成しています。

<当資料について>

- 当資料は、NFRICが農林中央金庫との契約により提供したデータに基づき、お客さまへの情報提供を主な目的として同金庫が作成したものであり、個別ファンドの投資勧誘等を目的としたものではありません。
- 当資料中に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料内の記述、グラフ・表・数値データ等の内容については、信頼できると考えられる情報に基づいて作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 事前の承認なく、当資料の全部もしくは一部を複製、転送または再配布されることはご遠慮ください。
- 本資料に掲載されたNFRIC提供のデータ、コメントについては、農林中央金庫への提供時点での判断に基づいており、通知なく変更されることがあります。
- 当資料の内容の一部は、NFRICが信頼性があると判断した様々な入手可能な情報に基づいています。しかし、NFRICはその正確さを保証するものではなく、これらの情報は要約された不完全なものである可能性があります。
- 当資料に示された期間中の各時点において、リターン、リスク、及び相関関係が大きく異なっている可能性があります。

■ お問い合わせ先

※ REITとは「不動産投資信託」とよばれるもので、不動産に投資を行います。

(注)株式・REITに関する指数の矢印は、前々月末比の変化率が+0.5%超で上向き、-0.5%~-0.5%で横向き、-0.5%未満で下向きとしています。

「国内債券／国内金利」、「米国債券／米国金利」の矢印については、各国の10年国債利回りの前々月末比の変化幅が-0.005未満で利回りは下向き・債券価格は上向き、-0.005~+0.005で利回り・債券価格ともに横向き、+0.005超で利回りは上向き・債券価格は下向きとしています。

「為替（米ドル）」については、前々月末比の変化率が+0.5%超で「米ドル高/円安」、0%~-0.5%で「やや米ドル高/円安」、±0.0%で「横ばい」、-0.5%~-0%で「やや米ドル安/円高」、-0.5%未満で「米ドル安/円高」としています。

投資資産の種類	ファンド名	投資手法 インデックス or アクティブ	想定 リスク ※1	過去の リスク (1年) ※2	過去の リスク (3年) ※2	トータル リターン (1年) ※3	トータル リターン (3年) ※3	基準 価額	前月末比	前月の 分配金 ※4	前月の 基準価額 変化率 ※5	前月の投資対象市場（資産）および基準価額の値動き	お申込 手数料 (最大・税込) ※6	ネット取引 (つみたてを除く) お申込 手数料 (最大・税込)	運用管理費用 (信託報酬) (年率・税込) ※7	信託財産 留保額
国内株式	農中日経225オープン	インデックス	12%～ 【積極型】	14.0%	15.1%	+15.4%	+43.3%	26,373円	-610円	-	-2.3%	国内株式が下落し、基準価額は下落した。	1.65%		0.583%	-
	農林中金<パートナーズ>つみたて日本株式 日経225	インデックス	12%～ 【積極型】	14.0%	15.1%	+15.5%	+44.2%	18,640円	-431円	0円	-2.3%	国内株式が下落し、基準価額は下落した。	-		0.385%	-
	農林中金<パートナーズ>おおぶねJAPAN (日本選抜)	アクティブ	12%～ 【積極型】	7.1%	10.8%	+11.2%	+25.8%	14,921円	-240円	-	-1.6%	国内株式が下落し、基準価額は下落した。一方で、組入れた銘柄の株価は一般的な国内株式の市場指数ほどは下落しなかった。	1.65%		0.88%	-
米国/海外 株式	農林中金<パートナーズ>米国株式 S&P500インデックスファンド	インデックス	12%～ 【積極型】	15.0%	16.9%	+35.8%	+74.2%	29,226円	+369円	-	+1.3%	為替は米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となったが、米国株式(米ドルベース)が上昇し、結果として株式の変動要因を強く受けたことから基準価額は上昇した。	1.65%		0.605%	-
	農林中金<パートナーズ>つみたて米国株式 S&P500	インデックス	12%～ 【積極型】	15.0%	17.0%	+36.0%	+74.9%	31,632円	+405円	0円	+1.3%	為替は米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となったが、米国株式(米ドルベース)が上昇し、結果として株式の変動要因を強く受けたことから基準価額は上昇した。	-		0.495%	-
	農林中金<パートナーズ>長期厳選投資おおぶね	アクティブ	12%～ 【積極型】	11.3%	15.9%	+28.9%	+55.1%	27,909円	+893円	-	+3.3%	為替は米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となったが、米国株式(米ドルベース)が上昇し、結果として株式の変動要因を強く受けたことから基準価額は上昇した。また、組入れた銘柄の株価は一般的な米国株式の市場指数(円ベース)よりも上昇した。	2.2%		0.99%	-
	農林中金<パートナーズ>おおぶねグローバル (長期厳選)	アクティブ	12%～ 【積極型】	9.6%	15.2%	+15.4%	+36.0%	21,685円	+35円	-	+0.2%	為替は米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となったが、米国株式を中心とした海外株式(米ドルベース)が上昇し、結果として株式の変動要因を強く受けたことから基準価額は上昇した。	1.65%		基準報酬+ 成功報酬	-
	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド 《愛称：ロイヤル・マイル》	アクティブ	12%～ 【積極型】	17.2%	28.4%	+40.4%	+12.2%	30,544円	+1,503円	-	+5.2%	為替は米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となったが、米国株式を中心とした海外株式(米ドルベース)が上昇し、結果として株式の変動要因を強く受けたことから基準価額は上昇した。	2.2%		1.6445% 程度	-
	セゾン資産形成の達人ファンド	アクティブ	12%～ 【積極型】	11.7%	15.1%	+16.8%	+36.8%	43,592円	-898円	-	-2.0%	一般的な米国株式を中心とした海外株式の市場指数(円ベース)は上昇したが、組入れた銘柄の株価が下落し、基準価額は下落した。	-		1.34%± 0.2%程度	0.1%
国内 REIT ※10	農林中金<パートナーズ>J-REITインデックス ファンド(年1回決算型)	インデックス	12%～ 【積極型】	9.8%	10.1%	-6.1%	-7.2%	10,912円	-100円	-	-0.9%	国内REITが下落し、基準価額は下落した。	1.1%		0.44%	0.1%
海外 REIT ※10	グローバル・リート・インデックスファンド (資産形成型)《愛称：世界のやどかり》	インデックス	12%～ 【積極型】	10.1%	18.9%	+28.2%	+32.0%	15,877円	-38円	0円	-0.2%	米国REITを中心とした海外REIT(米ドルベース)は上昇したが、為替が米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となり、結果として為替の変動要因を強く受けたことから基準価額は下落した。	1.65%		0.6875%	-
国内債券	JA日本債券ファンド	アクティブ	～3% 【安定型】	2.7%	2.9%	-2.6%	-8.1%	10,088円	-70円	-	-0.7%	国内債券の価格が下落し、基準価額は下落した。	0.22%		0.22%	0.05%
海外債券	Oneニッポン債券オープン 《愛称：J社債選抜》	アクティブ	～3% 【安定型】	0.4%	1.0%	+0.8%	-1.9%	9,953円	+6円	-	+0.1%	日系企業が発行する円建てや外貨建ての劣後債を中心とした債券の価格が上昇し、基準価額は上昇した。(劣後債とは債務の支払い順位が普通社債と比べて低い債券です)	1.1%		0.693%	-
	農林中金<パートナーズ>先進国債券ファンド (部分為替ヘッジあり)	アクティブ	～3% 【安定型】	3.0% ※8	3.0% ※8	-0.3% ※9	-0.3% ※9	9,965円	+13円	-	+0.1%	海外債券の価格が上昇し、基準価額は上昇した。	1.1%		0.935%	-
	農林中金<パートナーズ>先進国債券ファンド (為替ヘッジなし)	アクティブ	8～12% 【中間～積極】	8.2% ※8	8.2% ※8	+5.5% ※9	+5.5% ※9	10,553円	-186円	-	-1.7%	海外債券の価格(米ドルベース)は上昇したが、為替が米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となり、結果として為替の変動要因を強く受けたことから基準価額は下落した。	1.1%		0.935%	-
バランス	農林中金<パートナーズ>日米6資産分散ファンド (安定運用コース)《愛称：コア6エパー》	アクティブ	3～8% 【安定～中間】	4.0%	5.1%	+0.5%	-11.3%	9,703円	-24円	0円	-0.2%	投資対象の資産の中でも国内債券の価格や国内株式などが下落し、基準価額は下落した。	1.1%		0.935%	-
	農林中金<パートナーズ>日米6資産分散ファンド (資産形成コース)《愛称：コア6シード》	アクティブ	8～12% 【中間～積極】	5.3%	9.3%	+8.0%	+0.4%	13,086円	+21円	0円	+0.2%	投資対象の資産の中でも米国株式や米国REITなどが上昇し、基準価額は上昇した。	1.1%		0.935%	-
	H S B C世界資産選抜 種まきコース(安定運用型)《愛称：人生100年時代》	アクティブ	～3% 【安定型】	2.7% ※8	2.7% ※8	-0.2% ※9	-0.2% ※9	9,983円	+14円	-	+0.1%	投資対象の資産の中でも海外債券の価格などが上昇し、基準価額は上昇した。	1.65%		0.923% 程度	-
	H S B C世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)《愛称：人生100年時代》	アクティブ	3～8% 【安定～中間】	3.1%	6.2%	+5.9%	-3.0%	7,784円	-70円	80円	+0.1%	投資対象の資産の中でも海外債券の価格などが上昇し、分配金再投資後の基準価額は上昇(分配金払い出し後の基準価額は下落)した。	1.65%		1.303% 程度	-
	H S B C世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)《愛称：人生100年時代》	アクティブ	3～8% 【安定～中間】	3.1%	6.3%	+5.8%	-0.4%	10,129円	-75円	35円	-0.4%	投資対象の資産の中でも高配当株式(米ドルベース)などは上昇したが、為替が米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となり、結果として為替の変動要因を強く受けたことから基準価額は下落した。	1.65%		1.303% 程度	-
	H S B C世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)《愛称：人生100年時代》	アクティブ	8～12% 【中間～積極】	4.0%	8.7%	+10.5%	+4.1%	13,228円	+57円	-	+0.4%	投資対象の資産の中でも米国株式を中心とした海外株式などが上昇し、基準価額は上昇した。	1.65%		1.303% 程度	-
	セゾン・グローバルバランスファンド	アクティブ	8～12% 【中間～積極】	10.2%	10.4%	+16.4%	+36.0%	26,103円	-400円	-	-1.5%	投資対象の資産の中でも米国株式を中心とした海外株式(米ドルベース)などは上昇したが、為替が米ドル安/円高(基準価額の下落要因)となり、結果として為替の変動要因を強く受けたことから基準価額は下落した。	-		0.56%± 0.02%程度	0.1%

※1 J Aバンクではお客様のリスク許容度に応じた投資信託のご提案を行っており、各商品の「想定リスク」、実際の「過去のリスク」をそれぞれ表示しています。
 想定リスクは各商品の過去の実績などをもとに、値動き変動幅を4つに分類したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。
 【安定型】：リスクを抑え、安定的な収益を目指します。
 【安定～中間】：安定した収益に加え、資産の成長による収益を目指します。
 【中間～積極】：多少のリスクを許容し、資産の成長による収益を目指します。
 【積極型】：リスクをとった攻めの運用でより高い収益確保を目指します。

※2 1年間または3年間の月次の騰落率に基づく標準偏差(年率)です。設定から半年の運用実績がない場合は「-」としています。
 ※3 1年間または3年間の基準価額の変化率で、分配金(税引前)を再投資して計算しています。
 ※4 分配金は以下の3パターンで表示しています。
 パターン1：「0円」(前月決算かつ、分配金0円)
 パターン2：「-」(前月決算でない)
 パターン3：「○○円」(前月決算かつ、分配金○○円)

※5 前々月末から前月末にかけた基準価額の変化率で、分配金(税引前)を再投資して計算しています。
 ※6 「長期厳選投資おおぶね」については、NISA(つみたて投資枠)での購入の場合、かかりません。
 ※7 ファンド・オブ・ファンズ形式等の場合は、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬も含めて投資家が実質的に負担する信託報酬を算出しています。
 「おおぶねグローバル」の信託報酬の詳細については、目論見書をご確認ください。
 ※8 設定から1年または3年に満たないため、設定来のリスクを計算しています。
 ※9 設定から1年または3年に満たないため、設定来のリターンを計算しています。
 ※10 REITとは「不動産投資信託」とよばれるもので、不動産に投資を行います。

<投資信託に関連するデータならびにコメントについて>

●投資信託に関連するデータは、株式会社野村総合研究所のデータに基づき、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下、「NFRIC」)が作成しています。[前月の投資対象市場(資産)および基準価額の値動き]は、ファンドの目論見書ならびに直近の月次報告書の内容に記載されている資産配分構成等を参考に、各資産の変動を市場指数の運用成果等で代用し、記載していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●投資する有価証券と市場指数との価格変動率や、資産配分の変更等によっては、実際の基準価額変動の主な要因と記載したコメントの内容に差異がある可能性があります。●リスクやリターンは過去の一定期間の実績を計算したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<投資信託についてご留意いただきたい事項>

●投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。【(株価変動リスク)株式相場の変動により、投資する株式等の価格が変動するリスクがあります。【金利変動リスク】市場金利の変動により、投資する債券等の価格が変動するリスクがあります。【通貨変動リスク】通貨価格の変動により、投資する外貨建て資産の価格が変動するリスクがあります。【信用リスク】投資する証券の発行体の信用状況の変化により当該証券の価格が変動するリスクがあります。】投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、信託期間中に中途換金できないものや、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託のご購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には次のものがあります。【(購入時)上記のお申込手数料がかかります。【運用期間中】上記の運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。【換金時】上記の信託財産留保額がかかるファンドがあります。】また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料等とは別に為替手数料がかかります。●ネット取引で投信つみたてサービスを利用した場合は、対面取引のお申込手数料率が適用されます。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)については、「お問い合わせ先」に記載のJAバンクまでお問い合わせください。